

## 第3回障害者スポーツフェスタこうとう

### ボッチャ交流大会参加要項

- 1 主 催 公益財団法人江東区健康スポーツ公社
- 2 協 力 江東区スポーツ推進委員会
- 3 後 援 江東区・江東区教育委員会
- 4 日 時 平成31年3月16日(土)  
午前の部 11時から12時30分(予定)  
※10時からの開会式にご参加ください。  
午後の部 13時45分から15時30分(予定)  
※13時30分からの午後の部開会式にご参加ください。
- 5 会 場 江東区スポーツ会館(北砂1-2-9)
- 6 参 加 費 無料
- 7 募 集 区内在住・在勤・在学の方で1チーム3人一組で2月20日(水)までにお申込みください。  
午前の部 16チーム ・ 午後の部 16チーム  
※2人または、お1人での参加も可能ですが、主催者側でチーム編成を行います。
- 8 申込・問合せ 深川北スポーツセンター(平野3-2-20)  
電話3820-8730 fax3820-8731  
メール festa@koto-hsc.or.jp

### ボッチャ交流大会参加競技要項

本大会は障害者や健常者の相互交流やボッチャの普及を目的として、以下の特別ルール申し合わせ事項により実施する。

#### 1. 競技規則

本大会は、基本的に「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020v1」および大会申し合わせ事項によって実施する。

#### 2. 競技方法

- 1) 総当たり戦で実施する。(タイブレイクは行わず、引き分けとする)
- 2) クラスの区分は設定しない。
- 3) 1チームは6名まで出場することができる。(6名の場合は、各スローイングボックスに2名)

### 3. 表彰

- 1) 各コートごとに表彰する。1位には賞状と副賞、2~4位には副賞を贈呈する。
- 2) 順位決定は、勝点方式（勝ち3点、負け0点、引き分け1点）を採用する。
- 3) 勝ち点と同じ場合は、以下の順で決定する。
  - ①当該チーム同士の勝敗
  - ②グループ全体での得失点差
  - ③グループ全体の総得点
  - ④じゃんけん（チーム全員で3回行う）

### 4. 使用コート・ゲーム数・時間

- 1) 使用コート A B C D の4コートで、公式コートを使用する。
- 2) 試合は2エンドとする。
- 3) 制限時間は設けない。（1試合15分想定）

### 5. 招集

- 1) 各コート後方の控えスペース（椅子）に集合する。
- 2) 招集後、代表者のじゃんけんで先攻、後攻を決定する。

### 6. 試合進行

- 1) 午前・午後のそれぞれについて、参加者に対する基本的なルール説明を各コートで行う（10分程度）
- 2) 試合に参加する2チームがコートに入り、残りの2チームはコート後方の椅子に控える（以降、試合を行わない2チームは同様にコート後方に控えておく）。
- 3) 赤チームが1, 3, 5番のスローイングボックスに入り、青チームが2, 4, 6番のスローイングボックスに入る。2人1組のチームは、1, 6番のボックスを使用しない。1組4人以上のチームは、任意のスローイングボックスに2人まで入ることができる。
- 4) 審判は、2チームを集め、お互いにあいさつを行う（「よろしくお願いします」）。
- 5) 各チームの初戦に限り（各グループの1, 2試合目）、投球練習を行うことができる。審判がクロスにジャックボール1球を置いた後、各チーム6球の練習とする。
- 6) 試合を開始する。
  - ①「ジャックボール、プリーズ（どうぞ）」とコールする。
  - ②ジャックボールに遠いチームから投球する。
  - ③両チーム6球投球後、「ボールフィニッシュ」とコールし、得点「赤又は青○点」を告げる。
  - ④「エンドフィニッシュ」とコールし、ボールの回収をする。
  - ⑤第2エンド「ジャックボール、プリーズ（どうぞ）」をコールする。
  - ⑥「ボールフィニッシュ」をコールし、得点を告げる。
  - ⑦ボールを拾い上げ、「マッチフィニッシュ」をコールし、ボールを回収する。
  - ⑧「この試合、○対●で▲の勝ちです」を告げる。
  - ⑨両チームの代表者にサインをもらう。

### 7. 反則（ヴァイオレーション）

- 1) 反則は、スローイングボックスを超えた場合と、審判が投球指示をする前に投球した場合のみとする。

- 2) 反則行為があった場合、審判は投球されたボールを止め、投球のやり直しを指示する。

## 8. 競技役員の役割

### 1) 審判（レフェリー）

- ①各コートの進行及び判定をする。
- ②反則行為があった場合、常に他のボールにぶつかる前に投球されたボールを止めるよう努める。
- ③ボールが動いた場合は、元の位置に戻し、相手チームの了解を求める。

### 2) 線審（ラインズパーソン）

- ①主にラインに関する違反について関わる。
- ②審判を補助する。（デッドボール回収、計測、反則など）
- ③審判の死角を補うため、審判の対角線上に立っていることが多い。

## 9. その他

### 1) 計測

- ①計測器具（テープメジャー、コンパス、すき間ゲージ、携帯ライト）を使用する。
- ②目測の場合、ジャックボールの真後ろに立って行う。
- ③選手にできるだけ背中を向けないようにする。

### 2) スポーツアシスタント

- ①スローイングボックスに入り、投球の助力を行うことができる。